

風邪（感染時）の自己治療法

風邪のひき始めの時

翌日になっても体調が
すぐれない場合



- ①風邪のひき始めは、唾液をティッシュに取り、それを持って2時間ごとにゲートマッサージを行います。唾液をガラス瓶に直接入れたものを持って行ってもいいです。
- ②翌日になっても調子がよくない場合は、今度は唾液でなく、尿をサンプルとします。
- ③尿をティッシュにつけて、それをガラス瓶に入れふたをします。これを持ちながら2時間ごとにゲートマッサージを続けます。

※風邪は、ひき始めのうちにNAET治療者に治療してもらおうとすぐ良くなりますので、高熱で動けないような場合を除けば、早く治療してもらうことをお勧めします。そうすると翌日には軽くなります。

※風邪などによって、嘔吐した時には吐いたものを、下痢をしたときには下痢便も、尿と一緒にガラス瓶に入れ、それを持って2時間ごとにゲートマッサージを行ないます。

応用編

✂ ✂ ✂ その他にも、こんな時に自己治療が出来ます ✂ ✂ ✂

- ◎包丁で指を切った。→ 尿・血液を使って自己治療
- ◎ペットにかまれた、引っ搔かれた。→ 尿・浸出液を使って自己治療
(へびにかまれた、蜂に刺された時にも尿で自己治療できますが、医療機関も必ず受診してください。)
- ◎歯茎から膿が出る。→ 膿を綿棒・ティッシュに取り、それを持って自己治療。
- ◎おりものがにおう。→ おりものを使って自己治療。
- ◎耳垂れが出る。→ 耳垂れを綿棒・ティッシュに取り、それを持って自己治療

これらの自己治療は、あくまでも一時的なものです。

確実にクリアさせるためには、NAET治療者に確認・治療してもらいましょう。